学校番号	309

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	大修館書店　　現代高等保健体育改訂版						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

出席、参加することとランニングや準備運動への取り組み姿勢、準備や後片付けに対する積極性を重視し、時間、ルール（服装、準備物、施設使用のマナーなど）を遵守する態度を集団として考えながら指導する。基礎体力の向上、運動技能の習得においては、できる限り個人の能力に応じて明確な目標設定ができる課題を設定し、チャレンジする姿勢を育てる。

２　学習の到達目標

体育の授業を通して、集団を意識して行動する、公正、協力、責任等の態度を育てる。体力の向上、自己管理能力を高め、各種運動の実践から、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、将来的にも運動の必要性を理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・運動を楽しみ、積極的に競技に参加することができるとともに、運動技能の仕組みやリズムを理解し、上達したい態度が見られる。 ・安全性にも配慮できる。	・集団行動において号令をかけることができる。 ・声を使ったコミュニケーションを図り、自分の意思を仲間に伝達したり、協力の態度を示す。 ・リーダーとしての資質。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	・丁寧な準備・計画、そのスポーツの特性を十分に理解し、円滑で、無駄のないパフォーマンスができる。 ・楽しむことと同時に事故や怪我の予防にも注意できる。	・配布資料から種目の特性や技能のポイントなどを理解して、実践する態度。 ・起こりやすい怪我や事故等の情報を収集する。
評価方法	・出欠、忘れ物 ・学習の観察 ・基本技能のスキルテスト ・ゲームのスコア、記録測定 ・タイム計測	・学習の観察 ・適切な説明や指示	・学習の観察 ・基本技能のスキルテスト ・ゲームのスコア、記録測定 ・タイム計測	・学習の観察 ・複数名、もしくはグループ、チーム等で行う応用的なスキルテストまたはゲーム

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動・体つくり運動・球技	集団行動 スポーツテスト 女子 硬式テニス サッカー バスケットボール 男子 ラグビー 器械体操(マット) 陸上競技	○	○	○	○	a：集団行動の主な行動様式を再確認し、機敏、的確に行動できる。各種目に対して、自ら積極的に取り組むことができたか b：記録や技術の向上に挑戦できたか ｃ：個人の体力、運動能力の現状を確かめる。 新たな技の習得と技能の上達過程を客観的に判断できる d：配布資料からポイントを読み取り正確に実行できる	受講態度の観察 プリント レポート 技術観察 実技テスト
2学期	水泳	平泳ぎ	○		○	○	a:水泳の楽しさを味わい、自己の課題に応じた取り組み姿勢がとれた b:生涯にわたり水泳を楽しむ豊かな心が持てたか c:水泳の特性に応じた泳法を身につけることができたか d:水泳の安全面の理解ができたか	記録測定 受講態度の観察 レポート 取り組む姿勢 フォームチェック
3学期	集団行動・体つくり運動・球技	ソフトボール 軟式テニス サッカー バレーボール バスケットボール その他	○	○	○	○	a：積極的な姿勢で取り組み、スキルアップをめざせたか b：各種目の楽しさ、できた喜びなど仲間と共有し、互いに認め合えたか ｃ：仲間と連携、協力しゲームを楽しめたか d：各種目のルール、特性を理解でいたか	受講態度の観察 レポート 記録測定

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。